永久保存版 ニヴフ族の歴史

永久保存版 ニヴフ族の歴史

ニヴフ族の永久保存版解説シリーズ

- ニヴフ族の歴史とは？流鬼の正体、ギリヤーク族、多民族社会の形成
- ニヴフ族の文化とは？犬ぞり、熊祭り、オホーツク文化
- ニヴフ語とは？他の言語との比較、学び方、自己紹介の表現

アイヌ語の成り立ちに関する過去動画

祝３万回再生！
補足動画もあり

https://youtu.be/8XcbtcgdtBg

アイヌ語はどこから来た？【世界初解明】/
インドヨーロッパ語族・オーストロネシア語族クレオール言語理論

アムール川周辺の民族

Evenki

Nivkh

Koryak

Itelmens

Oroks(Ulta,Uilta)

Nanai

Negidals

Ulch(Nani)

Oroch

Udege

Ainu

民族の画像

- https://indigenous-russia.com/ir-data/maps
- http://www.smallnations.ru/udegeytsyi/udegeyskaya-obschina-tigr/
- https://www.youtube.com/watch?v=nTg4IGffed8
- https://homsk.com/bingo/surovaya-zhizn-kamchatskih-indeycev-itelmenov
- https://arctic-megapedia.com/negidals/
- https://www.youtube.com/watch?v=o5KJbc-LHsE
- https://tuturizm.ru/2022/11/18/evenki/
- https://xn--l1abga6a.xn--p1ai/nanaiskii
- https://www.youtube.com/watch?v=dxLH51FP_bo
- https://kmns.ru/blog/2023/04/18/ульчи-историко-культурологический-а/
- https://japanfans.nl/en/history-and-culture-of-the-ainu/

ニヴフ族の情報が少ない

ニヴフ族に詳しくなる！

本動画で得られること

1、ニヴフやアイヌの関係を事実に基づいて理解できる
▷過去に投稿したアイヌ語の成り立ち解明シリーズを補完

2、日本語で検索しても得られない
ニヴフ族の文化・歴史が分かる
▷漫画「ゴールデンカムイ」に登場するニヴフ族の濃い話も聞ける

3、ニヴフ語の学び方を徹底的に知ることができる
▷無料で使える教科書やアプリを紹介

永久保存版 ニヴフ族の歴史

YouTube チャンネル紹介

- 70言語ほど勉強中の言語オタク
- 理系的発想×語学ミニマリストの観点
- マルチリンガルになるための楽しさや手法

YouTube チャンネル紹介

言語解説	ロシア語、ウクライナ語、フランス語、 タイ語、トルコ語、アラビア語 etc
発音解説	ネイティヴ発音習得、巻き舌
勉強法、コツ	語学アプリ紹介、 多言語学習×ChatGPT
言語の成り立ち解明	アイヌ語、日本語

Science×Language×Geek×Minimalist
今日からあなたもマルチリンガル！
YouTube,Blog,X

チャンネル登録お願いします！
目標1万人

目次

- ニヴフ族とは？
- ニヴフ族と周辺の民族
- 歴史的な呼称の変遷
- ニヴフ族の歴史
- まとめと次回予告

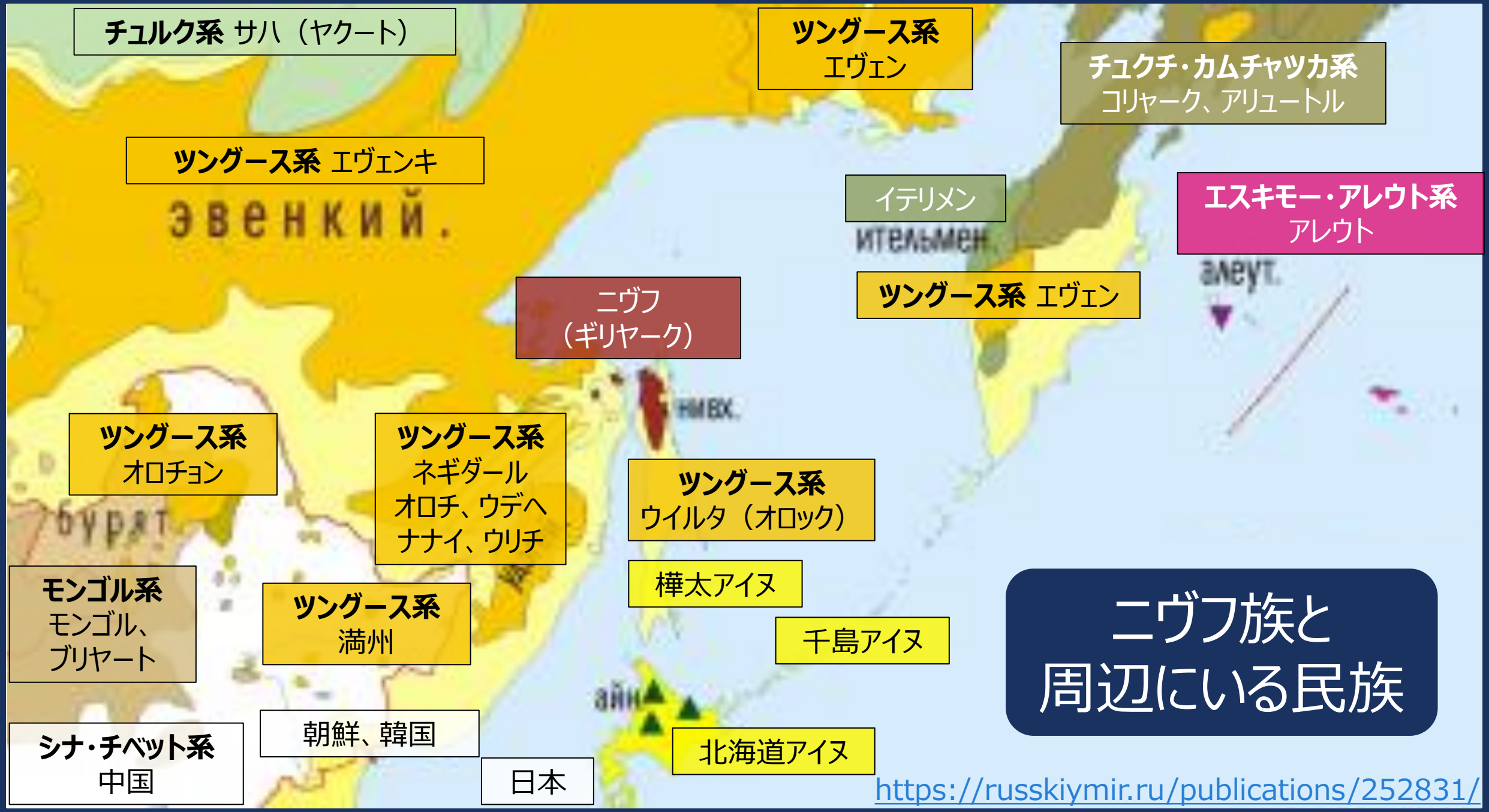
ニヴフ族とは？

ニヴフ族とは？

- ロシアの極東にあるアムール川流域と
  サハリン北部に暮らす民族集団
- 180を超える民族で構成されるロシア国民の一員
- 2020年の国勢調査では
  約3,800人がニヴフ族と自認している
- ニヴフ語話者は高齢者を中心に
  10~100名ほどと見られている

参考サイト

- Речь на амурско-нивхском языке（アムールニヴフ語でのスピーチ）
- Проект Института языкознания РАН - Малые языки России – Нивхский язык（ロシア科学アカデミー言語学研究所 – ロシアの少数言語 - ニヴフ語）



ニヴフ族と周辺にいる民族

https://russkiymir.ru/publications/252831/

民族の系統は何で決まる？

- 国際的に明確な定義はないが、
「言語系統」が基準となることが多い
- 過去に異なる文化や言語を
持っていたという歴史的な認識や
当事者の自認も系統分類の根拠になる

参考サイト

- Языки России: сотни лет вместе（ロシアの言語、数百年にわたる共存）
- https://titus.uni-frankfurt.de/didact/karten/sibir/sibirim.htm
- https://en.wikipedia.org/wiki/Template:Distribution_of_languages_in_the_world
- Интерактивный атлас коренных малочисленных народов Севера, Сибири и Дальнего Востока: языки и культуры（北方・シベリア・極東の先住民族の言語と文化に関するインタラクティブ地図 – ニヴフ族、簡単な歴史的背景）
- みんぱくリポジトリ - 近現代のアムール川下流域と樺太における民族分類の変遷

歴史的な呼称の変遷

нивх（nivkh,ニヴフ）

- この呼称は20世紀から
  世界中で使われている
- ニヴフ語アムール方言で「人」を
  意味する単語нивхに由来する自称

ニヴフ族の呼び方

- 国や時代によって様々なものが存在
- 歴史資料を調べていくと、複数の呼称が混在している可能性が高い

中国語	ピンイン表記	推定語源	使用された年代	日本での通称
流鬼	liúguǐ	ニヴフ祖語 *n′iɣvŋや *n′ivɣŋ	7~8世紀（唐代）	リュウキ
吉里迷	jílǐmí	ツングース語族 gile	13~17世紀 （元代～明代）	ギリミ
乞烈迷	qǐlièmí	中国語 吉里迷		ギレミ
乞烈宾	qǐlièbīn	中国語 吉里迷	14世紀（元代）	–
费雅喀	fèiyǎkā	満州語 ᠮᠠᠨᠵᡠ ᡤᡳᠰᡠᠨ	17~20世紀（清代）	フィヤカ
飞牙喀	fēiyákā			
非牙哈	fēiyáhā			
尼夫赫	nífūhè	ロシア語 нивх	20世紀	–

※読み方は現代の標準中国語のピンイン表記のため、当時の発音とは異なる場合があります。
※「流鬼」がニヴフ族であるという具体的な根拠は後述しています。

満州語	ローマ字転写	推定語源	使用された年代	日本語読み
	fiyaka	（未調査）	17世紀	フィヤカ

※満州文字は縦書きです
　また「アムール川流域に住む住民」の意味合いが強いようです

アイヌ語	推定語源	使用された年代	日本語読み
nikubun	ニヴフ語サハリン方言 нифвҥ	19世紀	ニクブン
sumerenkur	アイヌ語 sumari「狐」+ kur「人」	19世紀	スメレンクル

※19世紀の間宮林蔵らがおこなった樺太探検の際にアイヌ語・日本語での呼称が記録されています

ロシア語	ローマ字転写	推定語源	使用された年代	日本語読み
гиляк	gilyak	ツングース語族 gileや 中国語 吉里迷	17世紀	ギリヤーク
гиляки	gilyaki	ロシア語 гилякの複数形	17世紀	ギリヤーキ
нивх	nivkh	ニヴフ語アムール方言 нивх	20世紀	ニヴフ
нивхи	nivkhi	ロシア語 нивхの複数形	20世紀	ニヴヒ

日本語	推定語源	使用された年代
ニクブン、ニクフン	ニヴフ語サハリン方言 нифвң	17世紀
スメレンクル	アイヌ語 sumerenkur	19世紀
ギリヤーク	ロシア語 гиляк	19世紀
ニヴフ	ニヴフ語アムール方言 нивх	20世紀
ニヴヒ	ロシア語 нивхの 複数形の нивхи	20世紀

歴史的な呼称についての備考

- 使用頻度は低いと判断したものは割愛
- 7世紀頃の日本書紀などに記載のある粛慎（みしはせ、しゅくしん）はツングース系の民族やニヴフ族の説などがある
  - 客観的に判断できる証拠や根拠がなく、特定には至らなかったので図には入れず

参考サイト

- Речь на амурско-нивхском языке（アムールニヴフ語での語り）
- http://hkuri.cneas.tohoku.ac.jp/
- https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900023326/KJ00004166016.pdf
- https://www.digital.archives.go.jp/gallery/0000000526
- 新唐書 -> 列傳第一百四十五　東夷（流鬼-7世紀）
- 通典 -> 邊防十六 -> 流鬼（流鬼-8世紀）
- 金史 -> 志第五：地理上（吉里迷-13世紀）
- 元史 -> 卷九十八（乞烈宾-14世紀）

参考サイト

- https://zhuanlan.zhihu.com/p/35753861
- https://rushrono.ru/sever_people_mzver.html
- https://atlaskmns.ru/page/ru/people_nivhi_life.html
- https://note.com/0908shikano/n/n760a11d19a41#c97ac9df-3f2　7-4d89-9a71-0cac21b5bd0c
- https://en.wiktionary.org/wiki/Nivkh
- https://en.wikipedia.org/wiki/Nivkh_people
- https://zh.wikipedia.org/zh-cn/黑龙江历史

歴史的に知られている呼称

- 吉里迷（ギリミ、13~17世紀）
- 乞烈迷（ギレミ、13~17世紀）
- гиляк（ギリヤーク、17~19世紀）

吉里迷やгилякの語源

- この呼称はニヴフ語ではなく、ツングース語族の gilɛ（「舟」を意味する単語）に由来すると考えられている
- 単語の正確な意味は「六組（最大12名程度）で漕ぐ大型の手漕ぎ舟」を指す

舟に乗るニヴフ族の絵

アムール川の開通を祝うギリヤーク人。L.シュレンク著『アムール川流域の外国人について』第2巻、1899年版の挿絵

https://dzen.ru/a/Z-fGxR0KnVzmGeZ3

ニヴフ族は海洋民族

- 古来より舟を用いて漁労のほか、銛や網を使ってアザラシやイルカなどを狩猟
- 舟を生活の中心に据えていたことから、「舟人」あるいは「船を漕ぐ人」を意味する呼称が定着したと推測される

ギリヤークとは「舟人」の意

ニヴフ族の歴史

- ニヴフ族の歴史は限られたものしかない
- 主に残っている記録は日本、中国、ロシアによって書かれた断片的なもの

ニヴフ族の歴史 1/2

世紀	年	出来事
7	640	中国の文献に「流鬼」という民族が登場
13-14	1264–1308	モンゴル帝国との同盟を結ぶ。 アイヌ民族との衝突（モンゴルの樺太侵攻）
17	1644-1646	ロシア帝国によるアムール川流域やサハリンでの 民族の記録が始まる
17	1689	ネルチンスク条約以降、清の属国となる
17-19	1680–1868	ニヴフ、ウリチ、アイヌ、松前藩らで 山丹交易を行っていた

ニヴフ族の歴史 2/2

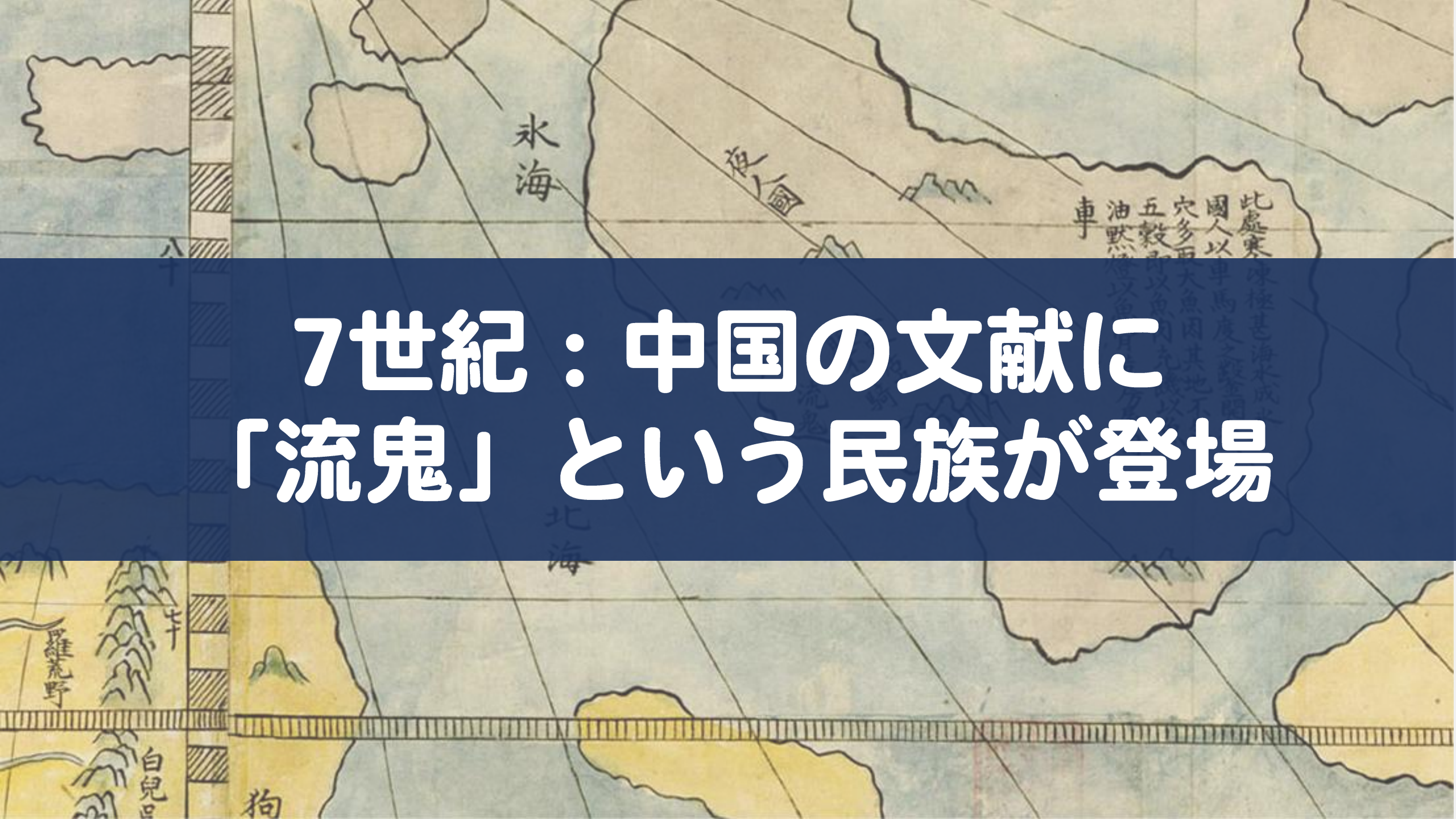
世紀	年	出来事
19	1808-1809	間宮林蔵らがサハリンやアムール川流域を探検し、 ニヴフ族と接触する
19	1800年代	ロシア帝国と大日本帝国、中国が アムール川流域やサハリンの領有権を主張
20	1945	第二次世界大戦後、日本管轄下にあった 南部サハリンのニヴフ族100名ほどが日本へ強制移住
20	1930-現在	ロシア政府や民間によるニヴフ文化の保護を進めている

参考サイト

- https://xn--80atoqz.xn--p1ai/materials/254508/samobytnaya-rossiya-nivkhi
- https://ehrafworldcultures.yale.edu/cultures/rx02/summary
- https://atlaskmns.ru/page/ru/people_nivhi_history.html
- https://www.ne.jp/asahi/kaneko-tohru/languages-nowar/NIVKH.pdf
- https://hes.official.jp/images/kaishi_pdf/08/08-12houkokunakamura.pdf
- https://ctext.org/wiki.pl?if=gb&chapter=225118
- https://www.britannica.com/place/Amur-River
- https://www.digital.archives.go.jp/DAS/pickup/view/category/categoryArchives/0400000000/0403020000/01
- https://akarenga-exhibitionguide.pref.hokkaido.lg.jp/gallery/b1f/gallery02/02/
- https://www.hiroki-ru.work/entry/20210103/1609664678
- https://zh.wikipedia.org/zh-cn/蒙古征服库页岛

ニヴフ族の歴史についての補足

- 7世紀
  - 中国の文献に「流鬼」という民族が登場
- 17～19世紀
  - ロシア帝国によるアムール川流域や
    サハリンでの民族の記録が始まる



7世紀：中国の文献に「流鬼」という民族が登場

7世紀：中国の文献に「流鬼」という民族が登場

- 中国の唐の時代において編纂された「通典」と呼ばれる文献等に「流鬼」と呼ばれる民族が記載
- サハリンのニヴフ族とみる説や、カムチャッカ半島のイテリメン族とみる説など諸説あり
- 現在では考古学的知見を中心にニヴフ族とみなす説が有力

7世紀：中国の文献に「流鬼」という民族が登場

- 「流鬼＝ニヴフ族説」が正しければ、
  7世紀の時点でサハリンに
  ニヴフ族がいたという証拠になる

言語学的観点で「流鬼＝ニヴフ族」説の検証

- 従来とは異なるアプローチで検証します
- その結果、私は「流鬼」はニヴフ族を指す名称であると確信しています！

流鬼＝ニヴフ語を転写したもの？

- 中古中国語の発音
- ニヴフ祖語で「人」を意味する単語
- 音声学的な事実
- 中国語諸方言における語頭NとLの混同

中古中国語の発音

- 7世紀頃の中国語は「中古中国語」と呼ばれ、現代標準中国語とは発音体系が異なる
- 中古中国語　　流鬼 ljuw kjw+jX
- 現代標準中国語 流鬼 liú guǐ

ニヴフ語で「人」を意味する単語

- アムール方言
  - нивх [ɲivx]「人」＋ гу [gu]「（名詞の複数形）」＝ нивхгу [ɲivxgu]「人々」
- サハリン方言
  - ниғвҥ [ɲiɣvŋ]「人」＋ гун [gun]「（名詞の複数形）」＝ ниғвҥгун [ɲiɣvŋgun]「人々」

ニヴフ祖語で「人」を意味する単語

- 再建された祖語では「人」および「人々」を表す語は次の通りである
- ニヴフ祖語 *n’iɣvŋまたは*n’ivɣŋ「人」
  *ku「（名詞の複数形）」

音声学的な事実

- 現代ニヴフ語の語頭音の ʜ [ɲ]と、[l]は音声学的に調音位置が近い
- [ɲ]は日本語の「ニャ」に近い音であり、[l]は現代中国語や英語のLとほぼ同様の発音である

中国語諸方言における語頭NとLの混同

- 中国語方言である西南官話方言（四川方言・湖南方言・湖北方言など）のほか、閩南語や広東語の一部では語頭の[n]と[l]の区別が曖昧になる現象がある
- 唐の都である長安（現在の陝西省）はそれらの使用地域とも隣接しており、古代においても同様の音変化が存在した可能性がある

中国語諸方言における語頭NとLの混同

- この現象は該当の方言話者が外国語を話す際にも見られる
- 語頭のLがNになる例
  - 荔枝「ライチ」 標準中国語 lìzhī、四川方言 ni4 zi1、閩南語 nāi-chi ナイチ

「流鬼＝ニヴフ族」説の検証 結論

- 中古中国語「流鬼」はニヴフ祖語「人々」の単語を転写したものと考えられる

ニヴフ祖語	中古中国語	中古中国語の異音形
*n’iɣvŋまたは *n’ivɣŋ「人」	流 ljuw	流 njuw （語頭の[l]が[n]化）
*ku 「（複数形）」	鬼 kjw+jX	鬼 kjw+jX

参考サイト

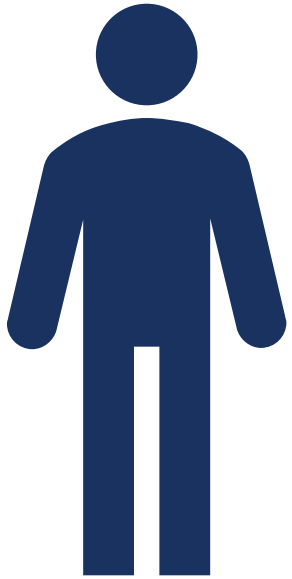
- https://edoc.uchicago.edu/edoc2013/zh_digitaledoc_linearformat.php
- Fortescue Michael D. Comparative Nivkh Dictionary Lincom (2016)
- https://www.frontiersin.org/journals/communication/articles/10.3389/fcomm.2021.639390/full
- https://en.wiktionary.org/wiki/荔枝#Cantonese
- https://zh.wikipedia.org/zh-cn/西南官话

簡単に言うと・・・発音が似てる！

中古中国語	ljuw	kjw+jX
異音形	njuw	
漢字	流	鬼
ニヴフ祖語	*n′iɣvŋ *n′ivɣŋ「人」	*ku 「（複数形）」

想定される当時のやり取り

唐の使節と通訳

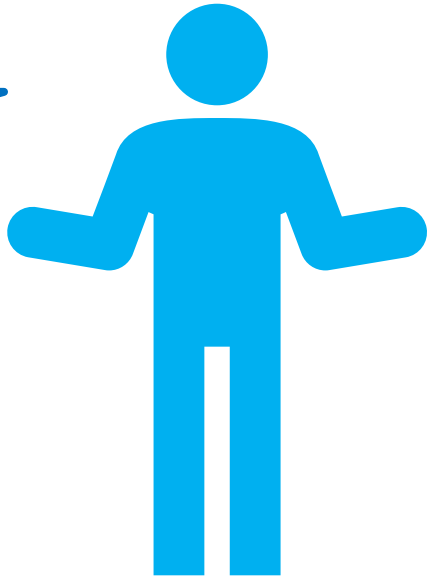


あなた達は何人？

ɲivɣŋku「人間です」

njuwgku? ljuwku?
流鬼かな・・・

7 世紀のニヴフ族



参考サイト

- 新唐書 -> 列傳第一百四十五　東夷（流鬼-7世紀）
- 通典 -> 邊防十六 -> 流鬼（流鬼-8世紀）
- https://www.docin.com/p-1120909893.html
- https://d.wanfangdata.com.cn/periodical/hljmzck200906021

17～19世紀：ロシア帝国による アムール川流域やサハリンでの 民族の記録が始まる

一般的に「民族」と言えば？

- 単一の遺伝子、言語、文化、歴史などを共有している集団

17世紀のニヴフ族

- 他の民族と混血し、複数言語を使用
- 複数の民族の文化が混ざり合っていた
- 多民族性溢れる集団だった

17世紀のニヴフ族の多民族性

- 17世紀頃に周辺に居住していた民族
- 共同社会
- ほかの民族との混血

17世紀頃に周辺に居住していた民族

- アムール川流域
  - サハリンニヴフ（後のアムールニヴフ）
  - ツングース系の民族（満州族、ナナイ族、ウリチ族、ネギダール族、エヴェンキ族、ウデヘ族など）
  - サハリンアイヌ
    （樺太アイヌのことで、後のアムールアイヌ）

17世紀頃に周辺に居住していた民族

- サハリン
  - ニヴフ族
  - ツングース系のウイルタ族（オロッコ族）
  - 樺太アイヌ（サハリンアイヌ）

17世紀の民族別の人口

- 「さらにロシア領外、アルバジン地区の周りには約1,400人のサハリンニヴフ人、約3,000人のサハリンアイヌ人、および現代のオロク人、オロチ人、ウデヘ人の祖先の約4,000人が居住していました。」

Б.О.ДОЛГИХ РОДОВОЙ и ПЛЕМЕННОЙ СОСТАВ НАРОДОВ СИБИРИ в XVII ВЕКИ

17世紀頃における
サハリンからの民族移住
サハリンニヴフ
樺太アイヌ
(17世紀頃)
後のアムールニヴフや
アムールアイヌ
サハリンニヴフ
(7世紀頃には
サハリンに居住)
樺太アイヌ
(13世紀以降)
千島アイヌ
(15世紀以降？)
北海道アイヌ

参考サイト

- https://dalgeotour.com/jp/regions/amurskaya-oblast/
- https://ru.wikipedia.org/wiki/Долгих,_Борис_Осипович

17世紀のニヴフ族の多民族性

- 17世紀頃に周辺に居住していた民族
- 共同社会
- ほかの民族との混血

移住による争いは？

共同社会が実現していた理由

- 当時のコミュニティの規模に対してオホーツク海沿岸には豊富な海洋資源があった
- 慣習法、つまり民族同士の共通の決まり事として漁場や狩猟地の資源を共有する仕組みがあった

共同社会についての記録

- 疫病や洪水などの自然災害などで移住が必要なった場合も概ね受け入れられていた
- ニヴフ族はツングース系の民族やアイヌ民族のような他の民族と同じ村で共同生活を営んでいた

多民族による共同社会

17世紀のニヴフ族の多民族性

- 17世紀頃に周辺に居住していた民族
- 共同社会
- ほかの民族との混血

ほかの民族との混血

- ニヴフ族は一つの民族だけで閉じた集団ではなく、複数の民族と混血した集団となっていく

アムール川周辺の民族

Evenki

Nivkh

Koryak

Itelmens

Oroks(Ulta,Uilta

ニヴフ族の氏族

Nanai

Negidals

Ulch(Nani)

Oroch

Udege

Ainu

氏族とは？

- 民族より小さい規模で、
  血縁を中心とした親戚や一族のこと
- 必ずしも全員に血縁関係が
  あるわけではなく、婚姻などにより
  他の民族出身者が加わることもある

17世紀のニヴフ族と氏族についての記録

- ニヴフ族の氏族
  - ツングース系の民族やアイヌ民族など異なる出自を持つ人々が含まれていた
- 別の民族の氏族
  - ニヴフ族に由来する氏族が存在していた

https://atlaskmns.ru/page/ru/people_nivhi_demography.html
https://www.kunstkamera.ru/files/lib/978-5-88431-259-3/978-5-88431-259-3_03.pdf

17世紀のニヴフ族の多民族性

- 17世紀頃に周辺に居住していた民族
- 共同社会
- ほかの民族との混血

目次

- ニヴフ族とは？
- ニヴフ族と周辺の民族
- 歴史的な呼称の変遷
- ニヴフ族の歴史

次回はニヴフ族の文化

古代の北海道にニヴフ族が？

Science×Language×Geek×Minimalist
今日からあなたもマルチリンガル！
YouTube,Blog,X

YouTube 視聴者様へお願い

- チャンネル登録お済みでない方
  - ぜひご登録お願いします！
- お済みの方
  - いいねなどの評価ボタンをクリック
  - X,LINE,Discord,ブログなどで拡散OK
- 感想、質問、リクエストをコメント欄へ

理系の言語オタク 出口日向

- YouTube
  - https://www.youtube.com/@language_geek
- ブログ
  - 動画の復習用、ブログ専用コンテンツ
  - https://language-geek.com/
- X
  - 動画とブログの新着情報
  - https://x.com/LanguageGeek_JP